

「ビジョンをつかめ！」プログラム

~ 自己の価値観とビジョンを言語化し、
エネルギーの基盤を整えるプログラム ~

< ご提案書 >

2016年



本研修のねらいと概要

研修のねらい

1. 自己のやる気エネルギーの源泉（自己の可能性・仕事を通じたお役立ち・認め合える人間関係）を理解する
2. 自己、顧客、関係者、メンバーの幸福度を高める「自己の価値観とビジョン」を研究する
3. 職場環境を整える：信頼関係のメカニズムと関係構築の考え方を体験を通じて習得する
4. 職場環境を整える：人間関係の理解度を深める感情レベルの対話スキルを体験を通じて習得する

重点ポイント

1. 動機付け・衛星理論（ハズバーク）、X理論・Y理論（マクレガー）、組織の成功循環モデル（ダニエル・キム）
2. 職場の活性化や個人の意欲向上に直結する「人間の心のメカニズム」の理解と手段としてのストローク
3. 相手を受け止める「承認」、具体性を引き出す「ほぐす・広げる」、思考・感情を理解する「傾聴」の各スキル
4. 価値観カードを活用し、個人のアイデンティティや使命感を明確にする
5. 幸福度を100満点としたときの現在の指数を設定し、満点になっている状態をイメージする

学習テーマ

	学習テーマ	学習内容
1日	オリエンテーション（事前課題あり） 1. やる気エネルギーの源泉（議論） 動機付けのメカニズム解説 2. 信頼関係のメカニズムと動機づけ 人間関係の距離感を縮めるストローク（実習） 3. 夢を語る	1. 職場での自分を振り返り、やる気が出る時とはどのような場面かをチームで議論する。議論の後、人のやる気が出る時のメカニズムを今まで発表されてきた学者のフレームを活用して解説 2. 人間関係の質が高まると成果の質が高まることを「組織の成功循環モデル」を活用して解説。人間関係の距離感を近づけるためのストロークを体験し、理解・職場での活用を促す 3. ビジョンカードを利用し価値観、思いを表現、夢を大いに語る
2日	4. 理解を深め質の高い関係づくりを促す対話スキル 承認、ほぐす・広げる、傾聴（実習） 5. 理解を深め質の高い関係づくりを促す対話スキル ロールプレイ（実習） 6. 「自己の価値観とビジョン」研究 他者との関係の中で自己の幸福度を高める	4. 対人関係の中で相手を深く理解するための対話スキルを実習を通じて体験理解する 5. 事柄レベル 思考レベル 感情レベルの3つのレベルをロールプレイを通じて体験する。意図的に感情に共感できる対話術を身に着ける 6. 自己の価値を明らかにすると同時に、将来にわたり仕事を通じて満足のいく働き方（ビジョン）をイメージする。同時に成し遂げるまでのストーリーを描く

研修プログラム案（2日間）

	1日目	2日目
9:00	<p>オリエンテーション 本日の研修の目的、ゴールの確認 自己紹介ゲーム</p> <p>1. やる気エネルギーの源泉（議論と講義） 各人のやる気が出る場面を職場の関係性の中から見つけ出す（対顧客、対上司、対メンバー、その他） 解説：エネルギーの上がる時とは 動機付け・衛星理論、X理論・Y理論 可能性・お役立ち・認め合える人間関係</p>	<p>1日目の振り返り、本日の進め方</p> <p>4. 理解を深め質の高い関係づくりを促す対話スキル 各スキルの活用トレーニング 承認、ほぐす・広げる、傾聴 カードを使った実習、ロールプレイ</p> <p>5. 理解を深め質の高い関係づくりを促す対話スキル 事柄レベル 思考レベル 感情レベル 各レベルの実践。ロールプレイ（実習） 意図的に感情と思考のレベルの対話を引きだせるようになることで相手を深く理解し、信頼度・関係性の質が高くなる</p>
12:00		昼食休憩
13:30	<p>2. 信頼関係のメカニズムと動機づけ（講義と実習） 組織の成功循環モデル 信頼関係のメカニズム 人間関係の距離感を縮め動機付けるストローク（実習） ストローク実践8ヶ条</p> <p>3. 夢を語る ビジョンカードを使い自己の価値観、将来への思いを表現する（ウォーミングアップ） 大きい夢でも、小さい夢でも大いに語り、他のメンバーに聴いてもらう。聴く側は実現することを前提に聴き、ストロークを贈り励ます</p>	<p>6. 「自己の価値観とビジョン」研究</p> <p>VTR鑑賞「各業界で活躍する人々の幸福度」 仕事を通じた自己の現状のハッピー指数の設定 自己のアイデンティティ（価値観）が実践できている幸福度100の状態</p> <p>顧客との関係が幸福度100になっている状態 職場（上司・メンバー）の人間関係がハッピー指数100になっている状態 自己の可能性が幸福度100になっている状態 「幸福度100を成し遂げる実践ストーリー」を描く チーム内発表・全体共有</p>
17:00	1日の振り返りとまとめ（18:00終了）	2日間の振り返り

* 当日の進行は、状況により変更になる可能性がありますのでご了承ください。

VTR鑑賞「各業界で活躍する人々の幸福度」

- 動画制作（オプション）10分/1名×5名=50分程度

< 利用場面 >

2日目の午後、6.「自己の価値観とビジョン」研究のセッションの冒頭で参考情報として視聴し、出演者の共通点や気づきを共有する。その後、自己の「幸福度」について思考・議論に入る。

< 動画の内容 >

各業界で活躍する経営者、タレント、スポーツ選手のアイデンティティ（価値観）、使命感、幸福度の高まりを感じる時、幸福度を高めるために工夫していることをインタビュー形式で収録。

< 出演者 > 研修内で利用できる動画本数は5人までです。

アントニ小猪木 氏（芸人）

岩井俊憲 氏（有限会社ヒューマン・ギルド代表）

江波戸大吾 氏（居酒屋「つちのと」代表）

折原昌夫 氏（プロレスラー）

小林直樹 氏（株式会社はてな取締役CFOコーポレート本部長）

登坂栄児 氏（大日本プロレス代表）

名知仁子 氏（NPO法人マンマーファミリー・クリニックと菜園の会代表）

野林徳行 氏（株式会社FiNC常務執行役員CMOマーケティング戦略本部長）

五十音順

講師紹介



春野 真徳 (はるの・まさのり)

株式会社スプリングフィールド代表取締役
(社)日本能率協会 専任講師
全能連認定マネジメント・インストラクター

企業・団体における研修講師、顧客・研修管理を中心としたデータベースの開発、組織調査(プロブレムリサーチ)、を主な業務としている。教えあい、学びあい、創りあう組織づくりを活動のコンセプトとし、人の能力開発を支援する研修、仕組みづくりを中心に活動を行っている。カードを使用して対話スキルの研修や思考を引き出すトレーニングは楽しみながら学ぶことができるので、評価が高い。JMA「リーダーシップ開発コース」「ファシリテーション」「コーチング」の講師を担当。

研修進行の特徴

一方的な講義はせずに、対話を中心とした受講者との関係性を大事にした学び場づくり
「やり方を学ぶ やってみる 振り返る 改善する」実習を通じて気づきを促す学び場づくり
意見を交わしあう時間を要所で取り入れ、受講者相互に刺激しあう学び場づくり

主な実績(研修)

化学、家電、不動産、商社、通信、飲料、地方自治体：新入社員研修、新入社員フォローアップ研修
飲食チェーン店、IT情報系企業他：接客・接遇マナー研修、ビジネススキル研修
製薬、繊維系企業グループ、燃料系、運輸系グループ：リーダーシップ&マネジメント、コミュニケーション研修
運輸、飲食、旅行、アミューズメント、飲料、燃料系グループ：キャリア・ディベロップメント・プログラム(CDP研修)
化粧品、不動産、燃料系グループ：社内研修トレーナー育成、育成担当者研修、コーチング、ファシリテーション
家電、情報系、アミューズメント、郵便系労働組合：業務改善、問題解決、業務改善生産性向上マニュアル作成研修
大学職員、地方自治体：調査統計・報告書作成研修
高齢者団体：定年退職者向けセカンドキャリア、ビジョンづくり研修
生活協同組合公開講座：事業戦略・計画書作成研修(女性起業家育成)
NPO法人：コミュニティビジネス専門家養成(組織・人材育成担当)
大学ゼミ：CSR事例紹介ゲストスピーカー
大学職員：プレゼンテーション研修
芸術団体、地方自治体職員：マーケティング基礎、広報戦略基礎